

科目名 (科目番号)	臨床栄養管理学 (時間割参照)	教員名 山邊 志都子	学科等	保健栄養	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			授業形態	講義	オフィスアワー	D305研究室	
授業概要	臨床栄養学で学んだ知識を医療・福祉等の現場で応用できる実践力の習得を目標とする。医療保険制度の理解を前提に、チーム医療の中で傷病者の身体状況や生活環境に即した栄養アセスメントを行い、具体的な栄養ケア計画や教育へとつなげる栄養マネジメント能力を養う。個別の病態に応じた最適な栄養管理を実践できるよう、専門職に求められる知識と技術の基礎を総合的に学ぶ。						
目的・目標	目的:臨床栄養学で学んだ知識を基盤とし、現場での栄養ケアに即応できる実践的な技術と知識の定着を図る。 目標:各疾患の病態を深く理解し、人間栄養学の観点から栄養管理の必要性を考察できる。また、それらを傷病者や他職種に対し、自らの言葉で適切にアウトプットできる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	栄養食事療法のポイント	達成内容:医療機関における食事療法の基本を理解する。 学習内容:医療機関における食事療法の基本を学習する。				
	2	ナトリウムコントロール食①	達成内容:高血圧と心疾患に対するナトリウムコントロール食のポイントを理解する。 学習内容:高血圧と心疾患に対するナトリウムコントロール食のポイントを学習する。				
	3	ナトリウムコントロール食②	達成内容:高血圧と心疾患に対するナトリウムコントロール食のポイントを理解する。 学習内容:高血圧と心疾患に対するナトリウムコントロール食のポイントを学習する。				
	4	エネルギーコントロール食①	達成内容:糖尿病などに対するエネルギーコントロール食のポイントを理解する。 学習内容:糖尿病症に対するエネルギーコントロール食のポイントを学習する。				
	5	エネルギーコントロール食②	達成内容:糖尿病などに対するエネルギーコントロール食のポイントを理解する。 学習内容:糖尿病症に対するエネルギーコントロール食のポイントを学習する。				
	6	たんぱく質コントロール食①	達成内容:腎疾患に対するたんぱく質コントロール食のポイントを理解する。 学習内容:腎疾患に対するたんぱく質コントロール食のポイントを学習する。				
	7	たんぱく質コントロール食②	達成内容:腎疾患に対するたんぱく質コントロール食のポイントを理解する。 学習内容:腎疾患に対するたんぱく質コントロール食のポイントを学習する。				
	8	脂質コントロール食①	達成内容:膵臓や胆嚢の疾患に対する脂質コントロール食のポイントを理解する。 学習内容:膵臓や胆嚢の疾患に対する脂質コントロール食のポイントを学習する。				
	9	脂質コントロール食②	達成内容:膵臓や胆嚢の疾患に対する脂質コントロール食のポイントを理解する。 学習内容:膵臓や胆嚢の疾患に対する脂質コントロール食のポイントを学習する。				
	10	易消化食①	達成内容:消化器疾患(胃潰瘍・腸炎)に対する易消化食のポイントを理解する。 学習内容:消化器疾患(胃潰瘍・腸炎)に対する易消化食のポイントを学習する。				
	11	易消化食②	達成内容:消化器疾患(胃潰瘍・腸炎)に対する易消化食のポイントを理解する。 学習内容:消化器疾患(胃潰瘍・腸炎)に対する易消化食のポイントを学習する。				
	12	肝硬変の栄養管理①	達成内容:たんぱく質コントロール食と栄養剤・栄養補助食品について理解する。 学習内容:たんぱく質コントロール食と栄養剤・栄養補助食品について学習する。				
	13	肝硬変の栄養管理②	達成内容:たんぱく質コントロール食と栄養剤・栄養補助食品について理解する。 学習内容:たんぱく質コントロール食と栄養剤・栄養補助食品について学習する。				
	14	がんの栄養管理①	達成内容:消化器術後の栄養管理のポイントについて理解する。 学習内容:消化器術後の栄養管理のポイントについて学習する。				
15	がんの栄養管理②	達成内容:化学療法中の栄養管理のポイントについて理解する。 学習内容:消化器術後の栄養管理のポイントについて学習する。					
成績評価の方法・基準	レポート・課題40%、試験60%で評価する（対面・オンライン共通）。						
教科書	Nブックス 五訂 臨床栄養管理 臨床栄養学 改訂第4版		寺本房子・恩田理恵・調所勝弘編著 中村丁次/川島由起子/他 編集			建帛社 南江堂	
参考図書	新しい臨床栄養学 改訂 第6版		後藤昌義、瀧下修一共著			南江堂	
教員からのメッセージ	本科目では臨床現場の具体的手法を扱うため、不明点はその日のうちに質問し、確実な理解を心がけてください。毎時重要な内容を含むため、欠席せず受講すること。また、計算演習を行うため電卓を常時携帯してください。なお、オンライン授業への移行等で計画に変更が生じる場合は、オンラインクラスにて修正シラバスを周知します。						